三和シャッター

三和の住宅用窓シャッター

マドモアスクリーンS ソーラータイプ

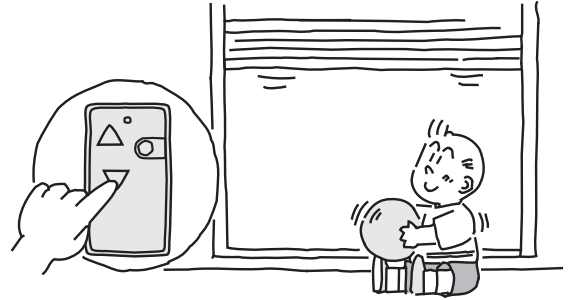
取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。
※建設会社・販売店・お施主様へ
　この取扱説明書は実際に使用される方へお渡しください。

三和シヤッター工業株式会社

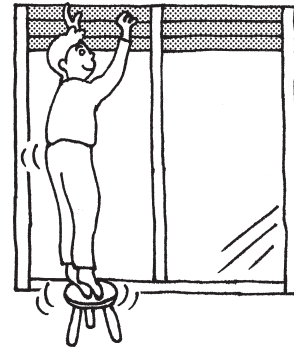
ご使用上の注意

次の警告事項を必ず守ってください。死亡または重傷を負う可能性があります。

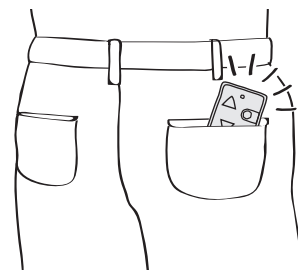
シャッターは必ず見える位置から操作し、動作が終了するまで確認してください。
自動運転のため、お子様などがはさまれますと、重大な事故となるおそれがあります。

● **手動操作、ソーラーパネルの清掃を行なう場合**

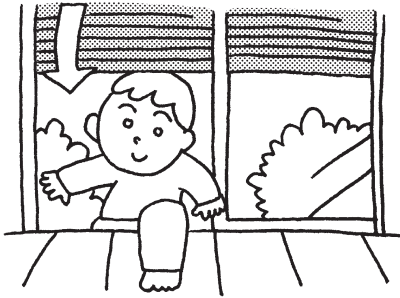
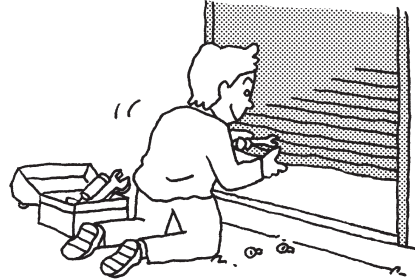
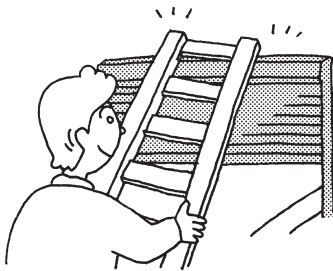
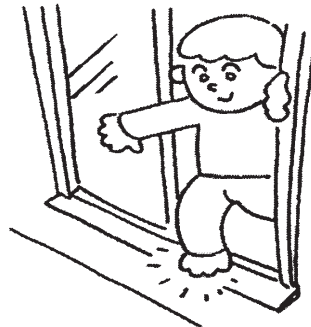
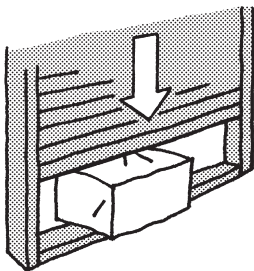
バッテリー容量低下により、電動操作ができない場合は、高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。
またソーラーパネルの表面が著しく汚れている場合は汚れを取り除いていただく必要があります。
窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行なってください。
窓から身を乗り出しての操作、清掃は行わないでください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

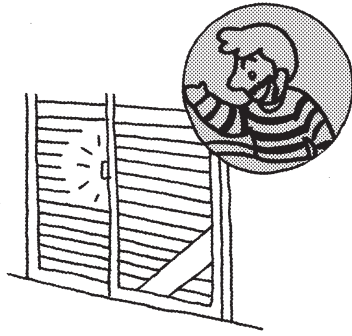
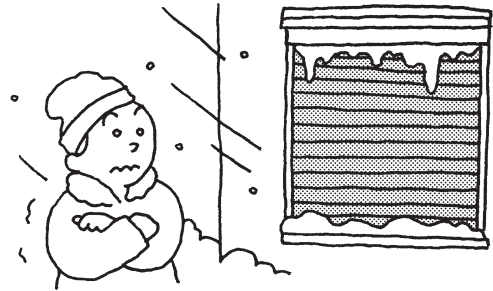
手動操作状態では、全閉しても外部から開放が可能です。
防犯性を確保するため全閉した場合は必ず手動操作レバーを押し下げて電動操作状態にもどしてください。

ズボンのポケットなどには絶対にリモコンを入れないでください。
意図せぬ誤作動やリモコン破損の原因になります。

ご使用上の注意

⚠注意　次の注意事項を必ず守ってください。軽傷を負うか、または物的損害の可能性があります。

シャッターの開閉中は下を通らないでください。シャッターにはさまれケガをするおそれがあります。

改造、修理、分解は行わないでください。故障の原因または仕様通りの性能が出なくなります。

シャッターケースやスラットにはしごをたてかけたり、物をぶつけないでください。変形したり、シャッターが動かなくなるおそれがあります。

水切板を踏み付けないでください。滑って転倒したり、水切板が変形するおそれがあります。

シャッターの開閉に支障となるようなもの（植木・箱など）を置かないでください。シャッターや器物を破損するおそれがあります。

シャッターケースの内部に水を吹きかけないでください。感電や火災、故障の原因となります。

ご使用上の注意

お願い

外出時または雨、強風、就寝時はシャッターを完全に閉め、室内のサッシも施錠してください。空き巣などに侵入されるおそれやシャッターが破損するおそれがあります。

冬期、シャッターが凍結した場合は、溶けるまで待ってから開閉してください。無理に操作を行うと、破損するおそれがあります。

バッテリー容量低下時はリモコンによる操作ができません。
バッテリー容量が回復するまでお待ちいただくか、手動操作（9ページ参照）に従って操作してください。

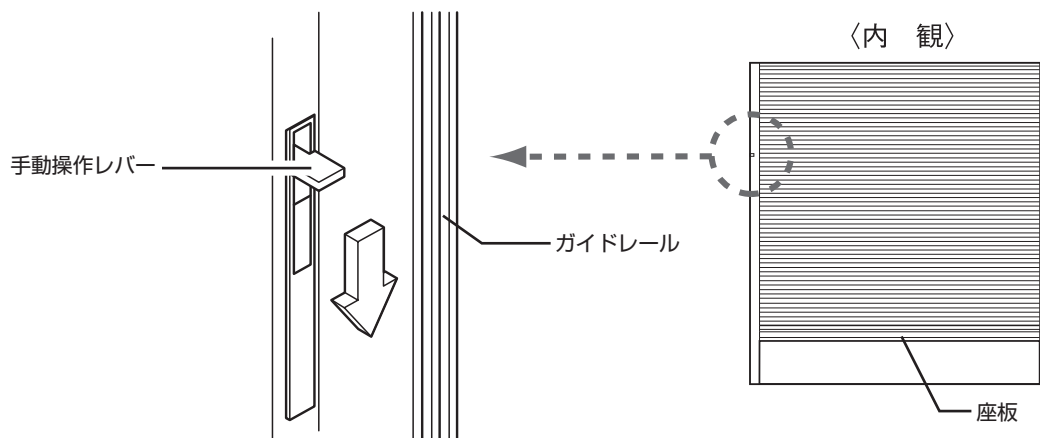
窓シャッターについて

- シャッターが全閉状態でも、強い降雨時にはスラット表面から内側に水が伝わり、スラットの内側が濡れることがあります。品質には問題はありませんので安心してご使用ください。
- スラットの表面に、雨などの水分が付着した状態でシャッターを開閉すると、水滴が落ちてくる場合があります。
  これはシャッターが巻き取られる際に、スラット表面の水滴が内側に付着するためです。品質に問題はありませんので安心してご使用ください。
- シャッターが全閉状態でも、強風によりスラットがばたつき、音がすることがありますが、異常ではありません。
- シャッターが全閉状態でも、構造上外からの光が入ることがありますが、異常ではありません。

4-3　手動操作方法

●充電不足によるバッテリー容量の低下により電動で操作できない場合は高い場所で、手動にてシャッターを操作していただくことになります。窓からの転落などの危険が伴いますので、安定した足場を確保し、注意して行なってください。

注意

●手動操作状態では、全閉しても外部から開放が可能です。防犯性を確保するため全閉した場合は必ず手動操作レバーを押し下げて電動操作状態にもどしてください。

① 内観左のガイドレールにある手動操作レバーを押し下げます。
手動操作レバーは自動的にもとの位置まで戻ります。
※リモコンによる操作直後に上記操作を行いますと、開閉機よりブザーが鳴ります。ブザー音は 60 秒後に止まります。
（しばらく操作していない時は、ブザーは鳴りません）

② 座板を持ってシャッターを引き上げます。

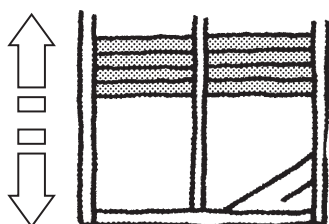
③ 手動操作から電動操作に戻すときは、再度手動操作レバーを押し下げてください。

4-4　電動操作復旧後の操作方法について

お願い

電動操作復旧後、必ず次の 操作を行なってください。
この操作を行なわないと、
● 障害物を検知した際に、停止のみで反転上昇しません。
● 全閉時に、スラットが波打った状態になることがあります。
● 全閉しない場合があります。

「OPEN」ボタンを押し、一度全開させてください。
※全開の状態でも「OPEN」ボタンを押してください。
※手動操作後、全開停止位置の再確認を行う作業です。

4-5　開閉時のシャッターの動きについて

●本商品は、スプリングでバランスさせたシャッターカーテンをモーターで開閉する構造になっています。バランス状態によっては、開閉中にシャッターカーテンが小刻みに動く場合もありますが、故障ではありません。安心してご使用ください。